

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 アパレル技術科3年	単	1 単位
科目コード	科目名 デザインパターン	授業期	6/3-7/1

担当教員(代表): 青砥 厚二	共同担当者:
-----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

DESIGN PATTERN VOL.6 SHIRT DESIGN デザイナーとパタンナーの仕事に近い形でトレーニングする授業。デザイン解釈〜フルパタンの実戦に近いパタンナーの仕事を実習。デザイナーが要求するデザインを実現させるため、個々に対話しながら良いパターン、パタンナーとは何か考察、考える力を習得することを目指し、パターンがデザインにおいていかに重要な役割かを理解する。デザイン1、2と反復練習することで技術の向上を目指す。弊社ブランドの実際に使っているパターンも公開する。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
デザイナー自己紹介、授業の内容と流れと目的	講義	1			
「パターン設計1」設計するデザイン説明	演習	2			
「パターン作成1」実物大のパターン実習	演習	2			
「トワル作成1とパターン修正1」仮縫い	演習	2			
「講習会1」	演習	1			
「パターン設計2」設計するデザイン説明	演習	2			
「パターン作成2」実物大のパターン実習	演習	2			
「トワル作成1とパターン修正2」仮縫い	演習	2			
「講習会2」	演習	1			

## 【評価方法】

デザイン解釈評価30% パターン技術評価60% 書類記述評価10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 デザイナーとパタンナーの仕事に近い形で課題を実施し、パターン技術向上を目指した講義内容です。英国留学、テキスタイルメーカー、コレクションブランドで経験を積んだ株式会社ユーストン代表兼ウィメンズブランドデザイナーの青砥が担当します。

記載者氏名 青砥 厚二

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科 名 アパレル技術科 3 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 カットソー	授業期間	前期 (16 コマ)

担当教員(代表) : 大澤 幸子	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

カットソーの基礎知識、ニットアパレルを理解するために必要な商品知識の習得  
 カットソー素材の服作りにおけるミシン類の基礎知識、技術の習得  
 カットソー素材のパターン作成、指示書作成までを理解する

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. カットソー概論 講義 1コマ  
 カットソーの分類、特徴、編地についてプリント、サンプル、スワッチを提示しながら解説します
2. カットソーの縫製 実習 3コマ  
 カットソーに使用するミシンの解説と基礎縫いの実習(生産実習室にて特殊ミシン使用)
3. カットソーの縫製 実習 1コマ  
 伸縮素材の縫製実習、Tシャツの作成
4. カットソーパターン 実習 3コマ  
 CAD(東レPatternMagic II)によるパターン作成、仕様書作成
5. ニットファブリック 実習 8コマ  
 各自作品の作成、縫製指導(生産実習室にて特殊ミシン使用)

## 【評価方法】

レポート(ファイル)の提出、Tシャツ縫製、出席率

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

カットソー工場のパタンナーを経験してきたので、現場の作業、現場の声を活かした授業をしていきます。

記載者氏名 大澤 幸子

## 2025年度 カリキュラム科目概要

科コード	KE3	科 名	アパレル技術科3年	単 位	1 単位		
科目コード	46300	科目名	縫製研究	授業時間	(前期)		
担当教員	岩井 一仁						
【授業概要、到達目標・レベル設定】							
「ジャケット」シングル二つ釦ノッチドラペルの縫製を1950年代からのTailor & Dressmakingの事実及び技術を研究また実習し、そこから新しい知識や見解を得て、それを現在主流の量産品の縫製に融合させ、高品質化を図れる有益な能力を取得することを目指す。							
【授業計画】							
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先							
テーマ		方法	コマ数	テーマ		方法	コマ数
パターンの設計、仕様、造形の説明			1				
裁断			1				
毛芯の設計、説明			1				
裁断			1				
身頃の縫製			2				
芯据え			1				
身返し縫製			1				
脇入れ			1				
肩入れ			1				
衿作り			1				
衿付け			1				
袖作り、袖付け			1				
仕上げ、ポケットの種類の説明～実習			1				
質疑応答、評価など			1				

【評価方法】評価S～C・F評価	
・評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%	

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
企業でのパターン作製、仕様書作成業務、生産管理、品質管理、工場指導などの経験を活かし、高品質な量産ジャケット縫製や仕立てについて指導する。

記載者氏名：岩井一仁

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12313	科 名	アパレル技術科 3年	単 位	1
科目コード	46310	科目名	企画・デザイン研究（選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：神場 教彰	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>講義外課題および作業が出ないようにする。</p> <p>就職活動に有利な即戦力を意識した内容。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>1. 主張性のあるマップ作成 / 1 講義・2 実習</p> <p>：デザインイメージを具体化し、転換・展開するマップやレジメの作成をする。</p> <p>2. 商品力のあるデザイン（商品）展開 / 1 講義・2 実習・1 合評</p> <p>：市場調査から売れ筋商品を把握し、自社の商品展開に生かす。スピーディーな商品企画・展開を考える。</p> <p>3. グループ製作 / 1 講義・6 実習・1 発表・1 合評</p> <p>：仮想ブランドを設定し、デザインの方向性・商品化の可能性を探る。</p> <p>：コンセプト・テーマ・商品構成・価格・店舗・など総合的に研究する。</p> <p>：発表を通じ提案力を身につける。</p>
---

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出欠状況：60% 課題提出：40%</p>
--

主要教材図書
参考図書
その他資料
<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>現在アパレル業界に限らず、多くの企業でマッププレゼンテーションが必須となっており、視覚効果や印象に残りやすいヴィジュアル制作を展開できるようにする。</p> <p>学院卒業後、(株)ヨウジヤマモトでパターンナーを経験し、現在はコンサルタント。</p>

記載者書名欄
--------

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科 名 アパレル技術科 3 年	単 位	単位
科目コード	科目名 生産各論品質管理	授業期間	( 後期 )

担当教員(代表)： 坂田 候晋

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品の品質管理において、必要な要素や知識を小売業の実際の実務内容を中心に学ぶ。  
就職後に品質管理の職に就かずとも、モノづくりに関して必要な知識を身に付け活かしてもらう。

## 【授業計画】

- 品質管理とは（1 コマ）
  - 品質管理とは何か
  - アパレルの品質管理だけでなく、モノづくりに関して役立つ資格
- 繊維全般の基礎知識（2 コマ）
  - 繊維全般～糸～生地、染色加工等
- 品質の評価について（2 コマ）
  - 品質基準について
  - 品質検査について
- 業界に関する法律で、企業で主に品質管理部門が担当するもの（7 コマ）
  - 家庭用品品質表示法
  - 景品表示法（サステナブルについて織り込みながら）
  - 家庭用品規制法
  - 最近よく耳にする規制物質（PFAS）
- 工場 QC チェックのポイント（2 コマ）
- アパレルで一般的に使用が禁止、制限されている素材と苦情事例（1 コマ） 全 15 コマ

## 【評価方法】

学業評価（中間小テスト、学年末試験）、授業姿勢（出席）

## 主要教材図書

## 参考図書

その他資料 講師作成のプリントを配布

## 授業の特徴と担当教員紹介

小売業で品質管理業務を行っている非常勤講師が担当

記載者氏名 坂田 候晋

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KE2	科 名	アパレル技術科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	コンピューターワーク (A)	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 高橋 翼	共同担当者 :
-----------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

実務において必要なパソコンの基本的な操作の習得を目指す。ソフトは現場で必須のデザイン系ソフト Adobe Illustrator を使用し精密な製品図の作成、企画段階での資料構成の習得を目指す。デザイン表現によるアウトプット、プレゼンにおける表現力の向上を目的とする。

## 【授業計画】

### ●使用ソフト

- ・ Adobe Illustrator

### ●指導内容

- ・ 基本操作 Illustratorの習得
- ・ Tシャツの作成 Illustratorの習得
- ・ ランニングの作成 : Illustratorの習得
- ・ ワイシャツの作成 : Illustratorの習得
- ・ 柄の作成 : チェック柄などの基本柄の作成

### ●提出課題

- ・ 製品図描画テスト
- ・ 既製品の製品図描画

## 【評価方法】

評価基準 : 出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

現場で使用するソフトの基本操作の習得。企画書、指示書など実務レベルのアウトプットの表現の習得。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、スポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA) 理事。

記載者氏名 高橋 翼

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KE2	科 名	アパレル技術科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	コンピューターワーク (B)	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 高橋 翼	共同担当者 :
-----------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>実務において必要なパソコンの基本的な操作の習得を目指す。ソフトは現場で用いるグラフィック系ソフトの Adobe Photoshop、オフィス系の Excel、Word を使用し企画段階での資料構成の習得を目指す。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>●使用ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Adobe Photoshop</li> <li>・ Microsoft Word、Excel</li> </ul> <p>●指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Photoshop <ul style="list-style-type: none"> <li>レタッチの基本</li> <li>レタッチの応用</li> <li>コレクションマップの作成</li> </ul> </li> <li>・ Excel <ul style="list-style-type: none"> <li>基本操作</li> <li>計算式の基本</li> <li>テスト</li> </ul> </li> <li>・ Word <ul style="list-style-type: none"> <li>文章作成の基本</li> </ul> </li> </ul> <p>●提出課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Photoshopコレクションマップ</li> <li>・ Excelテスト</li> <li>・ Word課題</li> <li>・ 総合課題</li> </ul>
---

<p>【評価方法】</p> <p>評価基準：出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価</p>
---

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>現場で使用するソフトの基本操作の習得。企画書、指示書など実務レベルのアウトプットの表現の習得。</p> <p>高橋 翼</p> <p>デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、スポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA) 理事。</p>
---

記載者氏名	高橋 翼
-------	------

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 アパレル技術科 3 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 マテリアル論	授業期間	後期

担当教員(代表)：田村亜由美	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1, 2 年で習得したアパレル素材論の復讐を兼ね、制作物で扱う材料をメインに各繊維性能、糸、織編、染色加工及び用語について生産の観点から理解させる。基礎的な力だけでなく応用力を身につけ、的確な素材表現や実務に役立つ知識を習得させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 概論 ・ 復習	講義	1 コマ
2. シャツ、パンツ素材について	講義・実習	3 コマ
3. ジャケット、コート素材について	講義・演習	2 コマ
4. 染色、特殊加工及び堅ろう度について	講義・演習	2 コマ
5. 機能性、その他素材について	講義	1 コマ
6. 商業クリーニングについて	講義	1 コマ
7. 物性試験	講義・実習	3 コマ
8. 総論	講義	1 コマ
	計	14 コマ

【評価方法】 学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書
参考図書
その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名 田村亜由美